



2026 年 8 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ
(東証グロース・コード 3070)

本社所在地 東京都中央区勝どき三丁目 13 番 1 号

代 表 者 代表取締役社長 宮 崎 明

問 合 せ 先 取締役 I R 広報室長 林 光

電 話 番 号 (03) 4570-6139

(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

令和 8 年熊本地震の被災地支援として
熊本県甲佐町へ製水機「AirQua」を無償貸与
～空気から飲料水を生成する技術を活用し、災害時の水の確保を支援～

株式会社ジェリービーンズグループ（以下「当社」）は、連結子会社である株式会社 JB サステナブル（以下「JB サステナブル」）を通じ、2026 年 7 月 28 日に発生した令和 8 年熊本地震の被災地支援の一環として、熊本県上益城郡 甲佐町へ、空気中の水分から飲料水を生成する製水機「AirQua（エアクア）」を無償貸与いたしましたので、お知らせいたします。

8 月 16 日に甲佐町役場へ「AirQua」を設置し、開発元である株式会社 Ray of Water の協力のもと、現地で設置作業および使用方法の説明を行いました。

このたびの地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な生活を取り戻されることをお祈り申し上げます。



■令和 8 年熊本地震を受けた被災地支援 ―甲佐町役場へ「AirQua」設置―

令和 8 年熊本地震では、甲佐町においても断水など生活インフラへの影響が生じました。

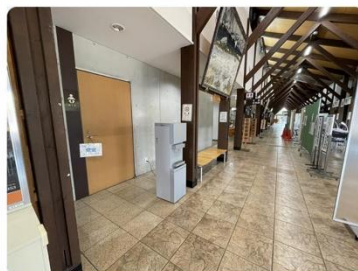
JB サステナブルは、「水」に関わる事業を展開する企業として、被災地域の皆さまの生活に少しでもお役立ていただきたいとの思いから、今回、甲佐町役場へ「AirQua」を無償貸与いたしました。

設置にあたっては、株式会社 Ray of Water の担当者が現地を訪問し、設置作業および使用方法の説明を行いました。「AirQua」は、被災された町民の方々も来訪される甲佐町役場 1 階ホールに設置されています。



■ 甲佐町役場

熊本県上益城郡甲佐町



■ 設置場所となった1階ホール

多くの町民の方々が来訪される場所



■ 設置した製水機「AirQua」

電源を接続するだけで運用を開始

■ 甲佐町長コメント

ジェリービーンズグループ様におかれましては、今回の製水機「AirQua」のご提供、心から感謝申し上げます。今回の地震で当町も断水世帯が長期化し、水の供給が大きな課題となっております。

貸与いただいた「AirQua」は、被災された多くの町民の方々が来訪される 1 階ホールに、設置させていただきました。縁もゆかりもない当町への格別のお取り計らい、心から感謝申し上げます。

熊本県上益城郡甲佐町
町長 甲斐 高士

■ 水源を必要とせず、空気から飲料水を生成する「AirQua」

「AirQua」は、空気中に含まれる水分を取り込み、冷却・結露させた後、ろ過することで飲料水を生成する製水機です。

水源を必要とせず、その場にある空気から水を生成できることを特長としており、日常利用に加え、災害時など水の確保が課題となる場面での活用が期待されています。

JB サステナブルは、2025 年 9 月に株式会社 Ray of Water との間で「AirQua」に関する総販売権を含む包括的業務提携契約を締結し、販売・レンタルを通じた社会実装を進めています。



■ 災害時の支援と、平時からの備えへ

災害時において、生活に欠かすことのできない水をいかに確保するかは重要な課題の一つです。同時に、災害が発生してから対応するだけでなく、平時から必要な備えを整えておくことも重要です。

JB サステナブルでは、「AirQua」が持つ水源に依存せずその場で水を生成できる特長を活かし、災害時における水の確保に加え、平時からの備えとして、企業や自治体等における BCP (事業継続計画)・防災対策にも役立てていただけるよう、社会実装を進めてまいります。

今回の支援を含め、一つひとつの地域や利用現場に寄り添いながら、必要とされる場面で技術を役立てていくことを大切にまいります。

■事業を通じた持続可能な社会への貢献

当社グループは、JB サステナブルを中心に、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

水源に依存せず空気から水を生成する「AirQua」の技術を、日常生活から防災・BCP 対策まで、それぞれの地域や利用環境に応じて役立てていくことも、その取り組みの一つです。

今後も自治体、企業、地域社会、パートナー企業との連携を大切にしながら、「AirQua」の社会実装を進め、持続可能で災害に強い社会づくりに貢献してまいります。

以上